

[www.jwing.net](http://www.jwing.net)  
[mail@jwing.net](mailto:mail@jwing.net)

# オーストラリア ビジネスイベント特集2023



©Tourism Australia



# リカバリー加速に不可欠 ビジネスイベント市場のニーズに照準を!

2022年2月、コロナ禍における渡航規制を完全に撤廃したオーストラリア。10月に始動したグローバルキャンペーンの追い風に乗れ、日本マーケットも動き始めてきた。この好機を逃すことなく次なる仕掛けをするなら、それは間違いなくビジネスイベントのマーケットだろう。受け入れもサポートも十分に備えているオーストラリアのビジネス需要を換気すべき時だ。

## 需要も路線も回復傾向へ

3年におよぶパンデミックの影響で大幅に減少したオーストラリアへの渡航者数は今、じわじわとかつての活気を取り戻しつつある。2022年4月から2023年3月までの累計でオーストラリアへの全渡航者数は499万9400名で対2019年比-46%だったが、3月単月だけを見ると61万3340名で同-26.7%と回復傾向だ。日本、中国、韓国などを含む北東アジアエリアの3月単月は同-60.7%に対し日本は-50%で、航空路線の回復や大型キャンペーンの効果が表れてきている。

日豪間の航空路線も3年前に迫る勢いで回復。現在、日本航空、全日空、カンタス航空、ジェットスターの4社が成田、羽田、関空からオーストラリアの5都市(シドニー、メルボルン、ブリスベン、ケアンズ、ゴールドコースト)へ運

航している。6月28日からはヴァージン・オーストラリア航空が羽田・ケアンズ線を週7便で初就航し、10月には全日空がバース線を再開する予定。さらにカンタス航空は11月26日からシドニーのダブルデイリー、メルボルンとブリスベンのデイリー運航を発表した。

## 視察で実感! ビジネスイベントのポテンシャル

日豪間の渡航に障害がない現在、日本マーケット拡大に必要不可欠なのはやはりビジネス需要だろう。オーストラリア政府観光局は、BE(Business Events)シドニーと共にこの3月、ケアンズとシドニーへ9日間のファミツアーを催行。ホテルやレストランなどのベニュー視察をはじめ、アクティビティやビジネスセッションなど盛りだくさんのプログラムを提供した。

グレートバリアリーフで海の透明度に感



ファミンで行われたビジネスセッションのオープニング

動したという参加者は「水陸どちらにもサステナブルアクションがあることを実感できた」と話しているほか、他の参加者からも「ビジネスイベントのポテンシャルの高さを感じた」、「和食の質の高さに驚いた」などの声が聞かれた。

一方で「各州のサポート情報が日本に広く伝わっていない」という声もあり、日本市場の回復が遅い原因の1つになっているのでは、という指摘もあった。現在、同局では日本からのビジネスイベントグループに助成金を提供するプログラムを展開中。以下に詳細と、各州のサポートプランを紹介する。



オーストラリア政府観光局では環境に配慮した取り組みを行っており、その一環として「週刊ウイングトラベル発行/オーストラリアビジネスイベント特集2023」にエコマーク認定用紙を使用しています。

ETAは  
スマホアプリで簡単に  
取得可!

## オーストラリアMICE 7つの魅力

### 1 充実のアクセス

成田、羽田、関空からオーストラリア5都市へ直行便が運航されており、選択肢は豊富。今後も路線は順次拡大されていく。また、時差はわずか1時間(州や夏時間により異なる)なので、時差ボケが起こりにくいというメリットも。

### 2 快適な気候

南半球に位置するオーストラリアは日本と季節が反対なので、避暑や避寒を目的にできる。同時に、主要都市には四季があり、季節ごとの楽しみ方を取り入れることも可能。ケアンズやゴールドコーストは年間を通して過ごしやすい。

### 3 抜群の治安

日本並みの治安の良さは、世界情勢を考えると最大のメリット。また、新型コロナウイルスによる入国制限はなく、出国前のワクチン接種証明や到着後の検査も必要ない。なお、水道水の飲料や宿泊施設などの衛生管理も整っている。

### 4 充実のホテル

コロナ禍以降、100以上のホテルが開業または改装され、最高級ブランドのシティリゾートホテルから個性的なブチ・ホテルまでラインナップが豊富。プティックホテルやオーベルジュ、ファームステイなどもおすすめだ。

### 5 多彩なベニュー

世界クラスのコンベンションセンターが各主要都市に完備されている。船や島、ガーデン、テーマパーク、アウトバックなどあらゆる場所がユニークベニューとして活用でき、イベントの主旨やクライアントの好みによって選択が可能。

### 6 美食とワイン

西洋と東洋をフュージョンしたモダンオーストラリア料理や世界的に評価の高いオーストラリアワインなど、極上のフード&ワインを提供。移民の国なので世界各国の本格料理が味わえるほか、和食のレベルも高いと評判だ。

### 7 雄大な大自然

世界遺産大国のオーストラリアでは、世界最大級の一枚岩や珊瑚礁群、熱帯雨林、奇岩群などラインナップがユニーク。その多くは主要都市から気軽にアクセスでき、現地で参加できるアクティビティを体験できるのが魅力だ。

## 各州のサポートプラン

### ● オーストラリア

BEオーストラリアは助成金をサポートするプログラムを展開中。2028年12月30日までに開催予定の400名以上のイベントや展示会、700名以上のインセンティブが対象で、審査に通る必要がある。対象外であっても相談を。

### ● ニュー・サウス・ウェールズ州

BEシドニーはMICEグループに対し、誘致から開催まであらゆる面でサポートを行っている。情報提供やアドバイスはもちろん、大小さまざまなイベントにエンターテインメントの派遣やウエルカム・ギフトの提供も可能だ。

### ● ゴールドコースト

ゴールドコースト観光局は、日本からのMICEグループに助成金をサポートするプランを実施している。ゴールドコーストに3泊以上する300名以上のグループが対象。

### ● 西オーストラリア州

BEパースは、10名以上のグループ1人につき最大50Aドルを助成するプログラムを実施している。2024年6月30日までにビジネスイベントを実施すること、パース指定ホテルに最低2泊することなどが条件だ。

### ● ビクトリア州

メルボルン・コンベンション・ビューローは、日本からのMICEグループにさまざまな特典を提供中。100名以上のグループの規模に応じて3つのプログラムを用意しており、150名からは助成金の申請などができる。

### ● ノーザンテリトリー

ノーザンテリトリーBEは、MICEグループに助成金をサポートするプログラムを実施中。ウェブサイトから申請でき、代表者1人につき最低100Aドルの助成金がサポートされる。

## オーストラリア ビジネスイベントの強み

昨今、ビジネスイベントの市場でも強く求められているのは「体験」だ。オーストラリアなら屋内外の多彩なユニークベニューやアクティビティの数々で、参加者のモチベーションアップへとつなげることができる。



競馬場もユニークベニューに

### テーマパーティー

ビジネスイベントに必要な不可欠なバンケットやパーティー。そこにさまざまなテーマを設けて参加者の一体感を演出するには、最適ベニューの選定が重要だ。オーストラリアなら博物館や図書館などの公共施設、世界遺産の建造物に加え、水族館や競馬場、テーマパークなどを選ぶこともできる。美しいビーチやワイナリー、熱帯雨林やアウトバックの広大な大地を舞台にすれば、それだけでも忘れ難い宴の席になるだろう。



ワイナリーにヘリでアクセス

### チームビルディング

グループの参加者が一丸となって1つの目的に挑戦するチームビルディング。サッカーや野球、テニス、ゴルフといったスポーツはもちろんだが、オーストラリアならではの体感型アクティビティがおすすめだ。グループでハーバーブリッジに登ったり、ワイナリーでブドウ踏みや樽転がしを競ったり、あるいはアボリジナルの点描画を体験したり。ビーチ清掃や植樹などのボランティア活動でも協調性を育むことができる。



ブリッジクライムで一体感を

### エンターテインメント

イベントを華やかに彩るエンターテインメントなら、オーストラリアならではのアボリジナル文化や固有の動物との触れ合いを取り入れるのもいいだろう。イベントの時期に合わせて訪れたり、イルミネーションやナイトライフを楽しんだりとアイデアは尽きない。

### トランスファー

大型グループは移動に時間がかかるが、その移動をアクティビティや体験に変えることで付加価値を高めることもできる。例えば、観光列車やディナークルーズをはじめ、参加者全員が何十台ものハーレーダビッドソンやクラシックカーで移動すれば、それは印象的なイベントになるだろう。

## オージー・スペシャリスト・プログラム (ASP)

ウェブサイトのトップページ、大幅リニューアルでより使いやすく!

<https://www.aussiespecialist.com/ja-jp>



AUSSIE  
SPECIALIST  
PROGRAM



### 学習はセルフペースで プランニングに役立つ情報も満載

「オージー・スペシャリスト・プログラム (ASP)」は、オーストラリア政府観光局が開発した業界向けのオンライン学習プログラム。自分のペースで進めることができるトレーニングコースやウェビナーをはじめ、販売に役立つモデルコースの日程表、ファクトシートなども入手できる。スペシャリストに認定後は、認定者を対象とした懇親会や研修旅行などへの参加も用意されており、ニュースレターに最新情報が

随時掲載されるので見逃さない。なお、3月末にはユーザーテストに基づいてトップページが大幅に変わり、より使いやすいサイトになった。

### スペシャリスト認定後も 随時情報のアップデートを!

オージー・スペシャリスト・プログラムは最終ログインから1年経過すると認定が取消となり、プライバシーポリシーの観点から一定期間を経てアカウントが削除されてしまう。せっかくの認定を維持するためにも、定期的に新規追加される学習

コンテンツやウェビナーを活用したり、デジタル資料をダウンロードしたりと、オーストラリアの最新情報を取得するのがおすすめだ。



# オンシーズンのシドニーで大規模インセンティブセミナー開催

## コロナ禍に配慮しながら盛大かつ豪華に

日本アムウェイがシドニーで大型イベントを開催したのは、今年2月。日本からのアウトバウンドが伸び悩みをみせるなか、1633名という大規模なMICEグループによる海外イベントとなった。コロナ禍がどう明けていくのか不透明なかで行われたこの催しは、これまで以上に高い満足度を記録したという。その詳細を紹介しよう。

### 過去10年の平均を上回る 高い満足度を記録

日本アムウェイがシドニーで開催したのは、リーダーシップ・アチーブメント・セミナー（LAS）と呼ばれる旗艦イベント。毎年海外で盛大に行われているものだが、コロナ禍で自粛せざるを得ず、3年ぶりに海外での開催となった。

久しぶりの海外イベントに高揚が隠せない様子だったのは、何よりアムウェイ・ビジネス・オーナー（ABO）と呼ばれる会員だ。過去10年間に及ぶLAS全体の平均満足度82.9%に対し、今回は88.8%という高い満足度を記録したのもその表れだろう。

LASは5日間の行程で、2月5～9日と2月10～14日の二手に分けて実施。どちらもICCシドニーでビジネス・セッションおよびグランド・バンケットが行われたが、それ以外は基本的にフリータイムとした。同社では通常、多彩なアクティビティや食事の機会を設け、現地での時間をより充実したものにする仕掛けを用意しているが、まだコロナ禍ということもあり一度に大勢が集まる機会を極力減らした。代わりに市内を循環するバスの運行や食事手当の支給などで工夫を凝らし、参加者からは「安心して行動できた」「食事が美味しかった」「自由時間も充実していた」と好評を博したという。



バンケットの間には華麗なエンターテインメントも



華やかなステージで表彰される参加者たち

### 3年ぶりのLASは 念願のシドニーで

栄養補給食品や化粧品、家庭用日用品などの販売ネットワークビジネスで知られるアムウェイでは、ABOの成績に応じてインセンティブセミナーに招待する制度がある。ABOのランクに応じて5つのイベントがあり、LASは目標を達成した全員が参加できる最も規模の大きい催しだ。



優秀者が集ったハンター・バレーでのイベント

毎年世界各地で行われているLASだが、会計年度2022年の開催地をシドニーに決めたのは、安全でフライトや宿泊施設が充実していること、アクティビティや食も魅力的であること、そして日本が寒い時期に温暖な気候の下でストレスなく過ごせることだったという。快適な都市機能と郊外の雄大な自然環境を併せ持つ風光明媚な港湾都市シドニーは、まさに会員に対する労いや感謝、今後のモチベーションアップを図る場としてふさわしい選択となった。

また、今回は新たに設定したグローバル・アワード・リコグニション（GAR）認定のイベントをハンター・バレーで開催。祝賀にふさわしい高級ブティックホテル、スパイサース・タワー・ロッジに宿泊し、2つ星相当のレストランMUSEで美食やオーストラリアワインを心行くまで楽しんだ。

### 今後はオーストラリアの 他都市での開催も視野

日本アムウェイでは、LASを含むすべてのインセンティブセミナーをオーダーメイドで企画・催行している。お金を出せば買えるパッケージ旅行ではなく、Only Amway Experienceをモットーにしているためだ。そのためには開催地の選定も重要で、定期的に訪れるホノルルを除き、行き先も多岐に渡っている。これまでLASはシドニーやゴールドコーストで開催されているほか、LASより規模の小さいハイランクのインセンティブセミナーはメルボルンでも行われている。参加者からもオーストラリアを希望する声は多く、今後は他都市でもインセンティブセミナーの開催を検討していく意向という。

#### 2022年度LASスケジュール

グループ1		
1	2月5日	シドニー到着
2	2月6日	フリー
3	2月7日	フリー
4	2月8日	ビジネス・セッション&グランド・バンケット
5	2月9日	シドニー出発/ 新GAR認定(ハンター・バレー)
グループ2		
6	2月10日	シドニー到着
7	2月11日	フリー
8	2月12日	ビジネス・セッション&グランド・バンケット
9	2月13日	フリー
10	2月14日	シドニー出発

# NEW SOUTH WALES

ニュー・サウス・ウェールズ州



オーストラリアならではの雄大な風景とハイレベルな都市機能を備えたシドニーは、MICEに適した都市の1つだ。なかでも、あらゆるタイプのイベントに対応可能なユニークベニューの多様性が強みで、世界遺産やテーマパーク、競馬場といった個性的な場所をMICEの舞台に取り入れることができる。



©Destination NSW

## シドニーMICEに最適なベニュー4選 個性的なベニューでシドニーならではの付加価値をプラス

### シドニー・インターナショナル・コンベンションセンター(ICCシドニー)

#### シドニーMICEのランドマークベニュー

2016年、ダーリングハーバーに完成した待望の施設で、個性的な外観の建物はコンベンションセンター、エキシビジョンセンター、アウェアスーパーシアターの3つで構成されている。MICEには宴会形式で2000名を収容できるグランドボールルームをはじめ、多機能・多目的な会議室、各種展示ホールなどの活用が可能。宴会やガラディナー、カクテルパーティーなど、どんなイベントも専従のスペシャリストがサポートに当たってくれる。



©Destination NSW  
ダーリングハーバーに面したICCシドニーの美しい外観

ICC Sydney <https://www.iccsydney.com.au>

### シドニー・オペラ・ハウス

#### シドニー湾を望む世界遺産でMICEイベントを

2007年に世界文化遺産に登録されたシドニー・オペラ・ハウスは、今年で50周年。舞台芸術の中心地として、また建築美に優れた建造物として広く知られているが、MICEのベニューとしても人気が高い。特におすすめの、シドニー湾に面したコンサートホールのノーザン・フoyer。目の前にシドニー・ハーバー・ブリッジが迫るパノラマは唯一無二の空間で、カクテルで最大1000名、着席で最大500名を受け入れることができる。



©Destination NSW

シドニー湾の絶景が最高の演出に

Sydney Opera House - Northern Foyer  
<https://www.sydneyoperahouse.com/general/venue-hire/functions/concert-hall-foyers-function.html>

### シドニー・タウンホール

#### 格式高い歴史的建造物を舞台に

時計塔が目印の市庁舎は、1868～1890年に建てられたビクトリア朝様式の歴史的建造物。華やかなシャンデリアや精巧なステンドグラスに彩られたセンテニアルホールには、高さ約25m、8000本のパイプが並ぶグランドオルガンが据えられており、重厚な雰囲気だ。ここではバンケットスタイルで800名、シアタースタイルで2000名の収容が可能。建物の地下はタウンホール駅と直結しており、アクセスしやすいのもメリットとなっている。



絢爛豪華なセンテニアルホール

Sydney Town Hall <https://www.cityofsydney.nsw.gov.au/landmarks/sydney-town-hall>

### オーストラリア・ターフ・クラブ

#### 競馬場をユニークベニューに

オーストラリアでは社交場でもあたる競馬場でMICEを行うのも面白い。シドニーには市内中心部から1時間以内でアクセスできる競馬場が4カ所あり、ガラディナーやカクテルパーティー、展示会や会議などの開催が可能。シドニー東部に位置するロイヤル・ランドウィックには、このほど最新の施設「ウインクス・スタンド」がオープンした。目前で白熱のレースを鑑賞しながら、洗練された屋内外のスペースで日本では体験できないイベントを開催することができる。



©Destination NSW

レース鑑賞の興奮も付加価値に

Australian Turf Club <https://www.australianurfclub.com.au>

### クラウン・タワーズ・シドニー

#### スタイリッシュな高級ホテルでMICEを

2021年、バラングルーにオープンした新たなランドマーク的ホテル。シドニーの街並みを望むロケーションや優雅な客室は非の打ちどころがなく、多彩なベニューでは華やかなパーティーから会議まであらゆるイベントに対応できる。



©Crown Hotels

モダンなデザインが光るロビーエリア

Crown Towers Sydney  
<https://www.crownhotels.com.au/sydney/crown-towers>

### BEシドニー

#### 無料でMICEをサポート

シドニーおよびニューサウスウェールズ州へのMICE団体誘致に取り組んでいる独立した非営利組織体。100名以上のグループには開催都市の選定に必要な情報、MICEに最適な宴会場・関連企業をはじめとするさまざまなサービスを提供している。



©Destination NSW

BE Sydney <https://www.besydney.com.au>  
担当: ルーシー・ジン(日本語可) [ljjin@besydney.com.au](mailto:ljjin@besydney.com.au) [M +61 420 960 149](tel:+61420960149)

# QUEENSLAND

クイーンズランド州



日本から一番近いオーストラリアであるクイーンズランド州は、季節に関係なく年間を通じて時差がわずか1時間しかなく温暖な気候にも恵まれている。しかも州内各地に日本から直行便が運航されており人気の海外旅行デスティネーションとなっている。またMICEの目的地としての魅力は、どんなビジネスイベントにも活用できる豊富なアクティビティが揃っていること。しかも参加者やイベントの性格に合わせて都市部からリゾートまで、さまざまな舞台設定を選択できるのもプランナーにとっては心強い点だ。



## 都市部での会議・コンベンションも リゾートでのインセンティブも

どんなビジネスイベントにも最適な舞台とアクティビティを提供

### BRISBANE ブリスベン

#### クイーンズ・ワーフ・ブリスベン 市中心部のリバーフロントを再開発

2032年の夏季オリンピック・パラリンピック開催に向けて大規模再開発が進むブリスベン中心部でも最大級のプロジェクトがクイーンズ・ワーフ・ブリスベンだ。ブリスベン川沿いのノースバンクにある広さ12ヘクタールのクイーンズ・ワーフを、複合リゾートエリアとして再開発するもので総工費は36億豪ドル、日本円に換算しておよそ4000億円の巨大プロジェクトだ。コロナ

禍前から工事が進められており今年中の開業を予定している。

ビジネスイベントのプランナーが注目すべきは、ロケーションの良さと、ホテルや娯楽施設をはじめとする各種施設の充実ぶりだ。市中心部に位置するため市内各所からのアクセスが良好で、ブリスベン・コンベンション&エキジビション・センター (BCEC) がある対岸のサウスバンクにも、新設される歩行者専用の橋を使えば簡単に渡れる。

ホテルは5ツ星のザ・スターグランド (340室) のほか、4.5ツ星のドーセット・

ブリスベンやオーストラリア初のホテルとなるローズウッド・ブリスベンなどが進出予定で、合計客室数は約1000室が見込まれる。

娯楽施設はスター・カジノに加え、バーやレストランも併設する地上100mの展望台「スカイデッキ」があり、ショッピング施設では100以上の高級ブランドを販売するDFS「Tギャラリア」が出店する。さらに市中心部で最大規模となる約2000㎡の屋内エンターテインメントスペースも開業する。

Queen's Wharf Brisbane  
<https://queenswharfbrisbane.com.au>

#### YOT バイス

#### スーパーヨットで豪華なビジネスイベントを

クイーンズランド州クーメラマリンで2019年にスーパーヨット・ビジネスを開始したYOTクラブ社が、新たに導入した貸切用のスーパーヨットがYOTバイス。全長90フィート (約27m) で2フロアの乗客スペースに76名まで収容可能。最新型スーパーヨットでブリスベン川を航行しながら船内でビジネスイベントを開催できるのが特徴だ。

航行中は川面から眺めるブリスベンの

美しい街並みを楽しめる。船内にはフルサービスのカクテルバーやビールカウンターが設けられ、各種アルコールやケータリング料理を提供できる。また55インチのデジタルTVや音響機器も完備しており、会議やイベントなど幅広い目的に対応できる。

このほかヨットからSUP (スタンドアッ



プバドルボード) を漕ぎ出したり、花火イベントを実施するなど、リクエストに応じて各種アクティビティをアレンジすることもできる。

YOT VICE  
<https://yotclub.com.au/yot-vice-private-charter>

## コールドロン蒸留所

## オリジナルのジン作りを体験

ゴールドコースト内陸部のヒンターランドに広がる高原エリア、マウントタンボリンで一味違うアルコール体験を提供しているのがコールドロン蒸留所だ。2020年に創業したばかりの若い蒸留所だが、上質なクラフト・ジン作りで知られている。ここで体験できるのが自分だけのオリジナルのジン作りだ。

ジンはベースとなるピリッツ（蒸留酒）に、ボタニカルと呼ばれる植物由来のハー

ブヤスパイスなどをブレンドして香り付けしたものだが、ジン作り体験はこのブレンド作業からスタート。ジンに必須のボタニカルとされるジュニパーベリー（西洋杜松）のほか、セージ、アニス、ハニー、ミントなどさまざまなボタニカルが用意されており、これとベース・スピリッツをプロのアドバイスを得ながら自分好みに自由にブレンドする。

ブレンドが完了したら250mlボトルにジンを詰め、自分の手でラベルも貼って世界に一つだけのオリジナル・ジンをお土産として持ち帰れる。



ブレンド体験の所要時間は45分間。ビジネスイベント用にランチと合わせて2~3時間のプログラムを組み立てたり、少人数のブレンド体験・チームに分けてチームビルディングに応用したりもできる。

**Cauldron Distillery**

[www.cauldrondistillery.com.au](http://www.cauldrondistillery.com.au)

## ハミルトン島

## オーストラリアを代表する報奨旅行の定番目的地

オーストラリア国内でインセンティブツアー（報奨旅行）の目的地といえば真っ先にハミルトン島が挙がるほどの定番目的地。島内宿泊者の20%はビジネスイベント目的のいわゆるMICE参加者が占めている。ハミルトン島へはシドニーやメルボルン、ブリスベンなどの主要都市から続々とグループがやってくるだけに各都市からの国内線が充実し、法人団体の受け入れ体制や施設・設備も良く整備されている。

宿泊施設のタイプやグレードが豊富で目的や予算に合わせて最良の選択肢を見つけやすいのもハミルトン島の特徴のひとつ。トップクオリティの「クオリア」から4ツ星のリーフビューホテル、家族向けのホリデーホームズなどまで5つのホテルがあり選択肢に困ることはない。

また旅行のハイライトとなるイベント開催の会場も複数ある。700名収容の大規模バンケットや中小規模の宴会場等の屋

内会場のほか、オンザ・ビーチやブルサイドなどの屋外会場や、ディナークルーズ（100名収容）をイベント会場とする選択肢も用意できる。

参加者がフリータイムに楽しむアクティビティも、マリンスポーツから18ホールの本格ゴルフコースまで多くの種類がありマリンスポーツの一部は無料で楽しめる。

また空港とホテル間は無料送迎サービスがあり、ホテルに着いてしまえば徒歩圏内に各種施設が配置されているので移動による環境負荷が抑えられエコであるうえ交通費がかからず経済的。案内役の現地ガイドの手配も不要だ。徒歩以外の島内移動手段としてEV車のバギーを利用する選択肢もあるがこちらは有料となっている。

島内の環境配慮は徹底しており、スタッ



フも含めバギーはすべてEV車で寿命を迎えたバッテリーはリサイクルのため完全回収する仕組みも整備。プラスチック容器や食器、ストローは4年前にホテル、レストランなどから完全撤去済みだ。

ハミルトン島には日本からもビジネスイベント目的で多くの旅行者が訪れているが、ほとんどは職場旅行か報奨旅行のどちらかで、職場旅行はワンバスサイズまでが中心。また報奨旅行の場合は大規模グループからVIPだけが離団してハミルトン島へ足を延ばすパターンが中心で規模は30名程度が多くなっている。

**Hamilton Island**

[www.hamiltonisland.com.au](http://www.hamiltonisland.com.au)

## ザ・チェンバース

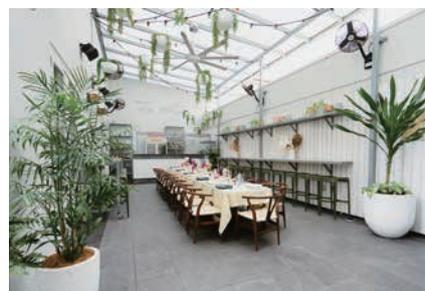
## 小グループの貸切利用に最適なベニュー

ケアンズでのビジネスイベント用ベニューとして注目のザ・チェンバース。街のど真ん中というロケーションが特徴で、小さな部屋がいくつもあり小グループの貸切利用に最適だ。1920年代まで銀行として使われてきた歴史的建造物を改修して複数のレストランやダイニングルーム、バーが集まる施設として2018年にオープンした。

レストランやダイニングで提供されるモダンオーストラリア料理のメニューは、「レストラン&ケータリング・アワード」でシェフ・オブ・ザ・イヤーを受賞したことも

あるヘッドシェフが考案したもの。地元の食材を生かした内容が特

徴だ。朝食やランチだけでなく、夜の貸切利用にも対応している。



各施設のキャパシティは次の通り。

- Inside Bar (着席40名/立食60名)
- The Patio & Laneway (着席40名/立食80名)
- Elsie's Private Dining Room (着席16名)
- Watkins Private Dining Room (着席22名/立食40名)
- Inside Restaurant (着席50名/立食100名)
- Outdoor Deck (着席40名/立食50名)

**The Chambers**

[www.the-chambers.com.au](http://www.the-chambers.com.au)

# GOLD COAST

ゴールドコースト観光局



ゴールドコーストは、過去3年間で10億豪ドル以上を投資、新しい観光プロダクトや体験を提供している。宿泊施設はここ数年で新たに3000室増え、テーマパークでも新しいアトラクションが登場、さらにHOTA (Home of the Arts) の誕生で、芸術文化のシーンでも注目を集める。ゴールドコースト観光局は、次のビジネスイベントを開催し、大成功させるために、ビジネスイベント専門チームがサポート。完璧な会場、特別なオフサイト体験、想像力をかき立てるアイデア、また地元の業界専門家やイベント業者とのつながりなど、どのような場合でも対応する。「想像力が生まれる場所」ゴールドコーストで成功につながるビジネスイベントを!



ゴールドコースト・コンベンション&エキシビジョン・センター (GCCEC) からゴールドコーストの最新のスカイラインを望む

## Imagination Capital of Australia

### 「想像力が生まれる場所」ゴールドコースト 新しいインフラが続々誕生

Luxury Hotels

#### ラグジュアリーホテルが続々オープン

##### ザ ランガム ゴールドコースト

サーファーズパラダイスとブロードビーチの間に位置する、30年ぶりにオープンしたオーシャンフロントリゾート。この5つ星リゾートは、169室の上品な内装の客室とアパートメント、広東料理のレストラン「T'ang Court」をはじめ、さまざまなレストランやバーを併設する。



##### ザ・スター・レジデンス

ザ・スター・ゴールドコースト内にモダンな1ベッドルームと2ベッドルームのアpartメントがオープン。完璧にデザインされた各住戸は、光にあふれ、広々とした快適な空間が自慢。プールやスパ、調理設備、カジュアルダイニングやプライベートダイニングなど、充実した設備とゴールドコーストの海岸線を一望できる素晴らしい眺望を楽しむことができる。



##### ドーセット ホテル ゴールドコースト

世界的なエンターテインメント&レジャー複合施設、ザ・スター・ゴールドコーストの一角を占め、ゴールドコーストでの思い出に残る滞在のため、都会的なスタイリッシュな活気とビーチサイドのどかな雰囲気の間を兼ね備えた最高の場所。ビーチからわずか700m、パシフィック・フェア・ショッピング・センターからすぐ、ゴールドコースト・コンベンション&エキシビジョンセンターにも隣接している利便性の高い立地も大きなポイント。

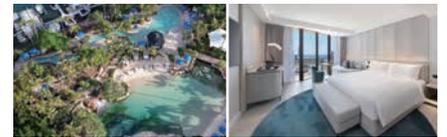


##### セントレジス・ゴールドコースト

2027年にサーファーズパラダイスにオープン予定。ハイエンドのラグジュアリーとリラックスしたライフスタイルが融合したユニークなスタイルが特徴。185室のゲストルームとスイートルーム、レストランやバーのほか、心地よいウェルネススパ、ラウンジなども併設する。

##### JW マリオット・ゴールドコースト・リゾート&スパ

2020年に3500万ドルの改装とリブランディングを経てリフレッシュ。ゴールドコーストに新しいレベルの洗練されたラグジュアリーとリラックスしたムードを提供する。223室のゲストルーム、地元の新鮮なシーフードを使った「クリティーク」や、鉄板焼きの「ミソノ」などの高級レストランなど併設。敷地内のラグーンも整備され、海の環境が再現されている。



##### ザ・リッツ・カールトン ゴールドコースト

2026年にオープン予定。メインビーチのマリナーズコープにある4億8000万ドルのウォーターフロント開発の一角を占める。150室の豪華な客室、3つのレストラン、バー、屋上プールのほか、リッツ・カールトン自慢のスパ、512㎡のボールルームも設ける。



## ゴールドコーストだから叶うユニークベニュー

### 最新アート施設 「HOTA」でのイベント

ゴールドコーストの最新スポット。ユニークな円形劇場で食前酒を飲みながら、地元のパフォーマーやアーティストに出会うことができる。印象的な屋外ステージでは、グリーンルーフの下で食事を楽しむことができる。



### 「YOT」豪華な船上ダイニング

YOTクラブは、世界初のスーパーヨットエンターテインメント施設。豪華な2階建てで、最大400名のゲストを迎えることが可能。まるで陸上にいるかのような空間が広がる。世界でここだけの海上でのパーティーは、記憶に残る体験となるはずだ。



### ゴールドコースト・コンベンション&エキシビション・センター (GCCEC)

ブロードビーチ地区に位置し、ニーズに合わせたカスタマイズが可能なコンベンションセ

ンター。パシフィック・フェア・ショッピング・センターから歩いてすぐ、歩道橋でザ・スター・ゴールドコーストとつながっているので便利。



### カリ・ビーチ・クラブ

カリ・ビーチは、昼夜を問わず楽しめるオーストラリア最大のエンターテインメントエリア。会場やスカイライン、海を眺めながら、4つの大きなプール、サンラウンジ、スポーツエリア、さまざまなドリンクやダイニングオプションを堪能したい。



## MICEを成功へと導く心に残る体験

### ウォータースポーツ・アドベンチャー

ゴールドコーストの年間平均日照時間は300日(約8ヶ月)。高速ジェットボート、ガイド付きジェットスキー・サファリ、ハイドロフォイル・アドベンチャーで、一年中アドレナリンを分泌させる体験を!



### カンピン野生動物保護区

ゴールドコーストを代表するワイルドライフ・サンクチュアリ。27ヘクタールもある熱帯雨林の驚異と自然の美しさに浸り、オープンな動物の囲いの中を歩き、カンガルーに餌をやったり、コアラを抱っこしたりしながら、オーストラリアならではの野生動物たちとの触れ合いが可能。テーマパーティーのアレンジもできる。



### ワーナー・ブラザーズ・ムービー・ワールド

星空の下、お気に入りのキャラクターたちと一緒に楽しめるディナーをアレンジ。参加者をファンタジーの世界へ誘う演出はテーマパークならではの。参加者に感動と笑顔を与えてくれる理想的な会場での忘れられないディナーを。



## Memorable Experiences

### スカイポイント

スカイポイント展望台は、ゴールドコーストを訪れるすべての人にとって必見の場所。海岸から内陸部まで360度見渡すことができ、パノラマを楽しみながらミーティングや食事のアレンジも可能だ。



### ヒンターランド&オリリーズ・カナンガラ・ワイナリー

太陽の光を浴びながら、オーストラリア名産のワインが味わえる。幅広い種類のワインを取り揃え、昔ながらの瀟洒な建物には、朝食やフォーマルなディナーに使えるボールルームを併設。絵のように美しい周辺を散策し、近くのカーティス滝やシダークリークフォールの幻想的なウォーキングを楽しむことができる。

### Access

### 日本からスムーズにアクセス ライトレールで街中の移動も楽々

日本からゴールドコーストへのアクセスはスムーズ。カンタス航空が羽田ーブリスベン線、ジェットスター航空が成田ーゴールドコースト線を運航。どちらの空港に到着しても、ブリスベン空港であれば車で1時間程度、ゴールドコースト空港であればわずか30分程度で、市街地に到着できる。ゴールドコースト空港は、2022年11月に拡張工事が完了、国際線の発着エリアが装いも新たに生まれ変わった。



ライトレールを使えば、市内の主要な場所へ簡単に行くことが可能

# Venue & Experience

## SDGsにも本気、 ビジネスイベントに最適な ベニュー&体験プログラム

民間企業にも積極的な取り組みがみられるSDGsは、ビジネスイベントの場においても求められている。ここでは、持続可能な運営を意識したオーストラリアのユニークベニューや体験プログラムを州別に紹介しよう。



### ノーザンテリトリー

Venue

#### ダーウィン・コンベンション・センター

#### 多角的にSDGs貢献目指す大規模施設

ダーウィン国際空港から約15分でアクセスできるノーザンテリトリー最大の会議・イベント施設。ウォーターフロントに位置し、国際会議や大規模な展示会をはじめ、授賞式、セミナー、コンサート、スポーツイベントなどを開催できる。建物は可能な限りエネルギー効率を高められるようデザインされており、

エネルギーの消費量を最小限に抑制。ほかにも排水システムに屋根を活用したり、地元の食材を使用することで持続可能なフードサービスを提供したりと、運用面でもさまざまな工夫が凝らされている。

**Darwin Convention Centre**  
<https://www.darwinconvention.com.au>



先進的な環境持続可能プログラムに参加している

### 西オーストラリア州

Experience

#### ソルト&ブッシュ・エコツアー

#### 専門ガイドと行く自然体感ツアー

パースの南、車で約90分のヤルゴラップ国立公園などで催行されているエコツアー。いくつもの湖や湿原が連なる豊かな自然が残り、多くの野鳥や野生の動物たちが生息している。環境保全分野でのキャリアをもつジェイミーと地質学者ベースの案内により、カヤックツアーやブッシュウォーキング、ドルフィン

ウォッチングなどを楽しむことができる。ナチュラリストガイドで自然愛好家の2人は環境保全活動にも力を入れており、SDGsや地質学の視察を取り入れたMICE向けプログラムをアレンジすることも可能だ。

**Salt and Bush Eco Tours**  
<https://saltandbush.com.au>



自然の中で過ごす非日常の時間が魅力

### 南オーストラリア州

Venue

#### ナショナル・ワイン・センター

#### ワイナリーのあるモダン施設でMICEを

アデレード中心部、植物園に隣接する近代的な施設。最新のテクノロジーを駆使した展示やガイドツアーでワイン造りの工程を見学したり、テイスティングルームでオーストラリア各地のワインを楽しむことができる。ビジネスイベントには6つのファンクションルームや屋外スペースで10~1500名のイベントに

対応。受賞歴があるケータリングはレベルが高く、ワインに合うメニューを豊富に取りそろえている。敷地内にブドウ畑があり、豊かな自然を感じられる環境でビジネスイベントを開くことができる。

**National Wine Centre of Australia**  
<https://nationalwinecentre.com.au>



ワインの樽を模した外観がユニーク

Experience

## ハートリース動物園

## 迫力のワニや愛らしいコアラを見学



ケアンズから北へ車で約40分の野生動物公園。世界遺産に登録されている乾いた熱帯雨林とそこに生息する動物を守るため、環境に配慮した持続可能な運営を行っている。広大な園内では、希少なコアラやクロコダイルなどを飼育。園内のガイドツアーをはじめ、世界遺産の森での植林やジャンピングク

ロコダイルが目玉のポートクルーズなどを体験できる。MICEグループには朝食・昼食各150名、計300名に対応でき、食事の会場でコアラを登場させることも可能だ。

**Hartley's Crocodile Adventures**  
<https://www.crocodileadventures.com>



オーストラリアならではの環境や動物を体験

## ニュー・サウス・ウェールズ州

Experience

## ドルフィンウォッチングツアー

## フレンドリーなイルカと触れ合いを



シドニーから車で約3時間南のジャービス・ベイは、美しい海と白い砂浜で知られる観光地。マングローブが生い茂る湿原などにより水陸の生態系が保たれ、海はイルカやクジラの生息地になっている。なかでも通年行われているドルフィンウォッチングクルーズが人気で、1年を通じてジャービス・ベイに生息す

る100頭以上のイルカとの遭遇率は高い。MICEグループには船を貸し切ることができるほか、近くの国立公園でブッシュウォーク体験ができ、地域のアボリジナル文化に触れることも可能だ。

**Discover Jervis Bay**  
<https://www.discoverjervisbay.com.au>



クルーズの所要時間は約90分

## ビクトリア州

Venue

## メルボルン・コンベンション&amp;エキシビションセンター

## 持続可能を追求する実績ある会議施設



メルボルンの中心部、ヤラ川沿いに位置する総面積約7万㎡の歴史ある総合会議施設。コンベンションセンターとエキシビションセンターが連結する建物はモダンな造りで、メルボルンを象徴する建築物の1つとなっている。多彩なベニューを取り揃え、大規模な展示会やパーティーから少人数の会議までさまざ

まな催しに対応可能だ。SDGsの取り組みにも積極的で、二酸化炭素排出量の削減や再生可能電力の供給、雨水の利用をはじめ、屋上のスカイファームではハーブや柑橘類を育てて地域に貢献している。

**Melbourne Convention and Exhibition Centre**  
<https://mcec.com.au>



SDGs17のゴールのうち14に対応

## タスマニア州

Venue

## スプリング・ベイ・ミル

## ウッドチップの工場跡がモダンなスペースに



ホバートの北東、車で約1時間半のトリアパンナからスプリング湾沿いを南下した先に、古い工場跡が残っている。1970年代にウッドチップ工場として稼働していたもので、これがMICEにも最適なユニークベニューとして生まれ変わった。静けさをたたえる水辺の風景にオープンエアのウッドデッキや円形劇

場、ブリキ小屋などがあり、ほかとは一線を画す環境でのイベント開催が可能だ。固有の植物を植え育て、自然エネルギーを活用し、オーガニックガーデンで食材を育てるなどSDGsにも力を入れている。

**The Spring Bay Mill**  
<https://www.springbaymill.com>



個性的なベニューはSDGsの学びの場にも

# BUSINESS EVENTS PERTH

西オーストラリア州



世界有数の広大な面積を誇り資源ビジネスをはじめとして日本との結びつきも深い西オーストラリア州。コロナ禍でも事態をコントロールし経済の健全性を維持することに成功した。現地ではツーリズム関連の投資も積極的に続けられビジネスイベントの受入体制もますます充実。再開間近の直行便以外に経由でのアクセス利便も大きい。そんな西オーストラリア州が誇る驚異の絶景や体験の数々は、訪れたビジネスイベント参加者の既存概念を取り払い新たなアイデアの生み出す機会となるだろう。



## 躍動し光あふれるパースで意義ある ビジネスイベントを

「光の都市」と呼ばれ晴天率も豪州の州都で最も高いパース  
オーガナイザーが求める全てがここにある

### Hotels ホテル

大充実のアカコモデーション、規模や  
ニーズに合わせ柔軟な対応可能に

MICE開催地の最重要項目が最適な宿泊施設の有無。その点パースはこの数年間で大きな変化を遂げた。市内だけで30軒が開業し5000室以上が追加。市中心部だけで1万6000室が利用可能となっている。

大型グループに最適なのは**クラウン・タワーズ・パース**。クラウン・パース・リゾートの最高級ホテルで、館内にはカジノ、ナイトクラブ、劇場、スパ、ブティックなどが揃う。15階の有料ラウンジクリスタル・クラブからは市内を一望することができる。



全500室のクラウン・タワーズ・パース

一方、中規模のグループには205室の**ザ・リッツ・カールトン・パース**がある。記念すべきブランド100軒目として2019年11月に開業したホテルで、パースのアイコンで

あるエリザベス・キーの再開発で誕生。伝説的なサービスで5ツ星+とも評価されている。またエリザベス・キーには2020年12月に229室の**ダブルツリー・バイ・ヒルトン・パース・ウォーター・フロント**も。



ザ・リッツ・カールトン・パース。  
スワンリバーを見渡す絶好の立地

そして、VIPのお客様には市中心部の**コモ・ザ・トレジャリー**をお勧めしたい。合計48室のブティックホテルで、アマンのデザイナーとして有名なパース出身デザイナー、ケリー・ヒルが晩年に手掛けた建築も魅力だ。2020年にはTravel+Leisureからオーストラリアとニュージーランド地域のベストシティホテルとして選ばれている。



19世紀の政府庁舎だった歴史的建築物を改装した  
コモ・ザ・トレジャリー

### クオッカで大人気の ロットネスト島も 高級ブティックホテルなど誕生

せっかく広大な西オーストラリア州を訪れたのであればパース以外にも足を伸ばしたい。

行き先の候補は無数にあるが、パースからフェリーで1時間半、フリーマントルからなら30分で到着できる**ロットネスト島**もその一つ。「世界一幸せな動物」として一躍有名になったクオッカが暮らす島としてワールドクラスの知名度を誇る。

そのロットネスト島でもコロナ禍の中で新たにラグジュアリーブティックホテル**サンファイア・ロットネスト**が誕生。80室すべてにバルコニーを配し、ビーチクラブ、ラグーン風スイミングプールなどが人気を集めている。

また島内では83棟のグランピングテント**ディスカバリー・ロットネスト・アイランド**も完成。どちらも高いサステナビリティを実現している。



# Venues ガラベニュー

西オーストラリアならではの  
歴史・文化・大自然を  
ユニークベニューに反映

ユニークベニューで最大のアップデートは**州立博物館ブーラ・バルディップ**の完成で4億豪ドルの改装を経て2020年11月にノースブリッジで開業。110年以上の由緒ある建物を活用し先住民の言葉で「たくさんさんのストーリー」という名称の通り、太古の昔から続く文化や歴史、自然環境も重要なテーマとした。



ブーラ・バルディップ。シロナガスクジラの全身骨格標本を見上げながらのガラディナーも

州内最古のワイン生産地スワンバレーの**サンダルフォード・エステート・ワイナリー**は世界に知られるワインで参加者をもてなす。大小様々なファンクションルームは食



州内には高品質で多様なワイナリーが存在

事やカンファレンス、セミナーなど柔軟に対応でき、最大1万5000人のイベントも可。

また、これぞのユニークベニューが世界遺産**フリーマントル刑務所**とボートクルーズの**クリスタル・スワン**。前者は最大2354人まで対応し、守衛詰所でのカクテルタイムや監房棟でのロングテーブルなどアイデアも膨らむ。

定員210人のクリスタル・スワンはスワンリバーの絶景が最大の武器で、州産食材による美食とワインも魅力だ。



空調完備のキャビンは通年で快適な空間を提供

さらに約1万3000kmもの海岸線を持つ西オーストラリアでは、ビーチサイドイベントなどのファンクションでもユニークな体験を実現できる。



青い空と海に白い砂浜、黄金の太陽が忘れられない思い出に

このほか**オプタス・スタジアム**も幅広い規模のイベントが可能。ピッチに立てばワールドクラスのアーティストやスポーツ選手のようなスター気分。屋内スペースも充実し天候の変化も心配ない。



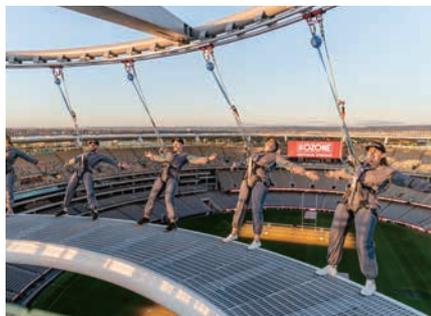
オプタス・スタジアムとマダガラップ橋

そしてもちろん、パースでのMICEの総本山と言える**パース・コンベンション&エキシビション・センター**も、大規模なグループ向けに自由なテーマで空間を形作ることが可能だ。

# Activities 体験

新旧のアクティビティが参加者を魅了  
注目高まるサステナビリティも

コロナ禍で誕生したアクティビティの一つが、世界で最も美しいスポーツ施設と評価された**オプタス・スタジアム**の屋根を上る**ヘイロー・ルーフトップ・クライム**。市中部とオプタス・スタジアムを繋ぐ**マダガラップ橋**でもスワンリバーの真上をジップラインで走り抜ける大興奮の**マダガラップ・ジップ+クライム**が新たに始まり、どちらもパースの街並みの絶景を楽しめる。



スリル満点のヘイロー・ルーフトップ・クライム

パースから南に1時間弱の**マンジュラ**の地では、国際的に評価の高いデンマーク出身アーティスト、トーマス・ダンボ氏による巨大野外インスタレーションが完成。ダンボ氏は地球と人間との関わりを重要テーマ

とし、作品も主に再生木材を使用。誕生したのは北欧神話の妖精トロールで、その優しさや遊びごころはきっと日本人の感性にも響くはずだ。



作品は無料で公開。マーガレット・リバーなど南側への移動の際に立ち寄りしたい

定番のアクティビティももちろん健在。例えばマンジュラの手前、パースから30分の**ロッキングガム**では野生のイルカと一緒に泳ぐ**ドルフィン・スイム**が大人気。すぐそばにある**ペンギンアイランド**では約1200羽のコガタペンギンにも会える。

パースを象徴する存在である**キングス・パークと植物園**も樹齢750年のパオパブや美しいワイルドフラワー、無料のツアーなど魅力は様々。この地を少なくとも4万以上所有してきたワジュク・ヌーンガーの人々が文化や歴史を案内してくれるプログラムも人気だ。

# Team Buildings 体験

ビジネスイベントでは、ただ楽しいだけでなく「ビジネス」に直結するアピールポイントも重要。例えば**チームビルディング**では、経験学習モデルにより枠にとられないラテラルシンキング（水平思考）や相互の信頼関係などを強化できる**Rapid Teams**が選択肢の一つになる。

一方、ますます重視されるSDGsやESGの観点では、環境に優しい自転車型の人

力車でパースやフリーマントルを案内してくれる**Peddle Perth**や、ロットネスト島をセグウェイで走りながらアボリジナルの文化を学べる**WA Segway Tours**、ハイキングのスペシャリストである**HIKE Collective**なども有力。

また**Salt and Bush Eco Tours**は、自然を愛する地質学者と環境科学者の夫妻が国立公園内で本格的な自然エコツアーを催行。35億年前から生息する世界最古の生物と言われるスロンボライトなども観察できる。

**BUSINESS  
EVENTS  
PERTH**

BE PERTHはパースを中心に西オーストラリア州全体のMICE誘致を担当し、素材や行程の提案のほか補助金などサポートプログラムも提供しています。  
担当 Alex Ng (AlexN@bepertth.com) <https://www.besneventsperth.com/>

# VICTORIA

ビクトリア州



ビクトリア州の州都で、19世紀の面影を残した建造物と、近代的な建造物が融合した街並みが魅力のメルボルン。オーストラリア本土で一番小さい州ながら、豊かな自然が広がり、四季の変化により季節ごとにユニークな体験ができる。別名「ガーデンシティ」とも呼ばれるほど緑豊かな公園が点在し、英誌「エコノミスト」の「世界で最も住みやすい都市」ランキングでは、2011年から2017年まで7年連続で1位に選ばれた。郊外の観光地へのアクセスが良いため、移動時間が少なく、滞在時間を有効的に活用できる。そんな魅力が多いメルボルンは、MICEマーケットに理想的なデスティネーションのひとつだ。



## 思い出に残るインセンティブなら メルボルンへ

### CHECK POINT

メルボルンを

### おすすめする点

- ✓ 便利な直行便フライト
- ✓ あらゆる予算に合わせた全部で3万室以上のホテル客室
- ✓ 100以上ものユニークなファンクションスペース
- ✓ 街歩き観光に適したメルボルン中心街
- ✓ サステナビリティを重視した数多くのアクティビティ
- ✓ 一年を通して開催される世界レベルのイベントやフェスティバル

### メルボルンへの MICEマーケットの強い味方

メルボルン・コンベンション・ビューロー(MCB)は、メルボルンへ MICE 旅行を検討しているグループに対して行程やアクティビティ、パーティー会場の提案を行う機関。また補助金やギブアウェイ提供などの誘致サポートも行う(条件有り)。 [www.melbournecb.com.au](http://www.melbournecb.com.au)

イチ  
押し!!

### 市内のトラム乗車が無料

トラム(路面電車)は、メルボルンを代表する公共交通機関。トラムに乗れば、市内ほとんどの観光スポットを巡



ることができる。乗り方も簡単なので、初めてメルボルンを訪れる人でも気軽に利用できる。メルボルン市内中心区域、及びドックランド地区内でのトラム乗車は無料なので、メルボルンの市内観光に大変便利。市内の外周を循環するシティサークルトラムと合わせて、リーズナブルでより充実した観光ルートを組むことができる。

## インセンティブグループにおすすめのアクティビティ

### メルボルン市街を一望するなら メルボルンスカイデッキへ

メルボルンスカイデッキは、南半球で最も高い地上285m、88階にある展望台で、眼下広がるメルボルンの景色が圧巻。また遮光切替ガラスのキューブが建物から滑り出す、スリリングな「エッジ」は、世界でここでしか体験できないので、是非トライしたい。89階には素晴らしい展望を望むファンクションスペースがある。  
[www.melbourneskydeck.com.au](http://www.melbourneskydeck.com.au)



### 一年を通して開催される イベント

メルボルンは、他都市にはない大型イベントが数多く開催されるのも魅力。全豪オープンテニス、F1オーストラリア・グランプリ、メルボルンカップ、メルボルン・フード&ワイン・フェスティバルなど、多数の国際的イベントの開催地となっている。また通常のスポーツイベントには、グループ用のファンクションルームが設置されていて、特等席で観戦しながらイベントを楽しむことができる。



### オーストラリア特有の 野生動物に接近

ヤラバレーにあるヒールズビル自然保護区は、メルボルンから車で約1時間という近さながら、200種以上のオーストラリア固有の野生動物や鳥類が見られる自然スポット。30ヘクタールの保護区の敷地は70ヘクタールの自然の森や草原に囲まれ、コアラやカンガルー、ウォンバット、エミュー、ディンゴ、カモノハシ、そしてさまざまな野鳥たちが野生に近い状態で生息している。  
[www.zoo.org.au/healesville](http://www.zoo.org.au/healesville)



### フレミントンで メルボルンカップ・カーニバルのスリルを体験

今や世界的にも有名な競馬レース「メルボルンカップ」のホーム、また南半球最大のバラ園でもある「フレミントン競馬場」での特別プログラム。過去のメルボルンカップ優勝馬を撫でたり、20万豪ドルに値する18金のエミレーツ・メルボルンカップ優勝杯を抱えてみたり、メルボルンの一流職人と一緒に自分のヘッドドレスを製作したり、メルボルンカップ優勝ジョッキーと会ったり、一流の競走馬トレーナーから優勝サラブレッドの調馬の話を知ることができる。  
[www.vrc.com.au](http://www.vrc.com.au)



### オーストラリアを代表するワイン産地、 「ヤラバレー」で絵画のような風景を楽しむ

メルボルンから車で約1時間、ヤラバレーの中心に位置しているのが「ロッチフォード・ワイン」。全面ガラス張りのレストランでブドウ畑を眺めながらワインテイastingや食事を楽しめる。インセンティブグループ用にデザインされたセットメニューもあり、セグウェイや葡萄踏み体験、ワインのブレンディング体験など、インセンティブグループ用に特別なアクティビティが用意されている。  
[www.rochfordwines.com.au/functions.aspx](http://www.rochfordwines.com.au/functions.aspx)



### パフフィンビリー号に乗って、自然の中を森林浴

ヤラバレーに近く、豊かな自然が残されたダンデノン丘陵。この一帯は、自然国立公園になっており、20世紀初頭に建設された、オーストラリア最古の蒸気機関車「パフフィンビリー号」が現役で走っている。緑濃い温帯雨林のなか、まるでおとぎ話の世界のような雰囲気を楽しめる。グループサイズに合わせて、一車両から全車両のチャーターが可能。  
[puffingbilly.com.au](http://puffingbilly.com.au)



### 可愛らしいペンギンをウォッチング

メルボルンから車で90分。野生動物の宝庫「フィリップ島」。自然保護への積極的な取り組みでも注目されている。この島で一番の人気アトラクションは「ペンギンパレード」。体長わずか30cmほどのリトルペンギンが毎晩、日没後に海から行列をなして陸の巣に帰ってくる姿を観察する。観覧席のタイプもいくつかあり、特におすすめは「ペンギンプラス席」。また「Underground Viewing (地下席)」は、ペンギンと同じ目線でパレードを観ることができる。  
[www.penguins.org.au/attractions/penguin-parade](http://www.penguins.org.au/attractions/penguin-parade)



## おすすめパーティー会場

### スタイリッシュな美術館で 思い出に残るファンクション

1861年にオープンしたオーストラリアでも最も古い美術館「ビクトリア国立美術館」。メルボルンのアート地区の中心的な場所にあり、アクセスも便利。世界の絵画や美術品を集めたコレクション総数は、約7万点にも及ぶ。この館内にあるファンクションスペース「The Great Hall」は、天井のステンドグラスと壁画が大変美しい。  
[www.ngv.vic.gov.au/functions](http://www.ngv.vic.gov.au/functions)



### 最新のデジタルアートギャラリーで 迫力の演出

2021年9月にオープンしたデジタル・アート・ギャラリー。ゴッホやモネなどの巨匠による絵画作品をモチーフにした、南半球初となる没入体験型デジタルアート展示を展開している。夜間はファンクションスペースとして利用でき、巨大な展示スクリーンを駆使したプレゼンテーションが可能。  
[www.thelumemelbourne.com/private-events](http://www.thelumemelbourne.com/private-events)



### 世界で最も美しい図書館で 思い出に残るイベントを

メルボルンで最もインスタ映えする建物として知られる「ビクトリア州立図書館」。オーストラリア国内で最も古い公共図書館で、現在、200万冊の本、35万点の写真、写本、新聞などが貯蔵されている。非常に人気のある図書館で、夜間はユニークな貸し切りパーティーがアレンジ可能だ。  
[venues.slv.vic.gov.au](http://venues.slv.vic.gov.au)



# NORTHERN TERRITORY

ノーザンリトリー



ノーザンテリトリーは地球上に2つとない大自然を堪能できる唯一無二の観光エリアだがビジネスイベントを開催する会場や舞台装置も整っている。トップエンドのダーウィンではカジノの大ボールルーム等で会議やコンベンションが開催され、漁業関係者による視察やイベント開催も少なくない。一方で社員旅行やインセンティブ旅行等に関してプランナーの人気を集めるのは、レッドセンター最大の観光資源である聖地ウルルを望むエアーズロック・リゾートだ。



5月からスタートした「ウインジリ ウィル・サンセットディナー」

## 聖地ウルルを背景に、生涯の思い出となる ビジネスイベントを演出

エアーズロック・リゾートは、ビジネスイベントの目的地としての条件を高いレベルで満たす。ウルル・カタジュタ国立公園に隣接するロケーションは観光拠点として申し分なく、エアーズロックの空港からリゾートまでは無料シャトルバスが運行されアクセスも良好、リゾート内に複数の会議・宴会施設が整いビジネスイベント参加者を楽しませる多彩なアクティビティも用意されている。さらにプランニングについては、専門のビジネスイベントセールスチームが各種相談に応じている。

### 最大420名収容のボールルーム

エアーズロック・リゾートにはビジネスイベント会場となるボールルームやファンクションルーム等がある。「チュングボールルーム」は地元先住民のアナング族の言葉で「一緒に会う」との意味がある「チュング」の名を冠した宴会場。床から天井までのガ



ラス窓が開放感を演出するモダンな施設だ。収容人数はシアターまたはカクテルスタイルで420名。このエリアにある屋内施設としては最大規模で2分割して利用することも可能だ。一回り小さいワナリームはシアターまたはカクテルスタイルで306名まで収容可能だ。

ファンクションルームは、クラスルームスタイルで66名が着席できるルンガタ・ルームなど全部で4つあり目的に応じて使い分けられる。このほか小会議室も複数ある。



屋外会場ではリゾート内のデザートガーデンズホテルのプールサイドがある。カジュアルなレセプションやネットワーキングイベントに最適で、バンケットスタイルなら180名、カクテルスタイルで300名まで収容可能だ。



また、ビジネスイベント参加者を楽しませるアクティビティは多彩だ。ドットペイントはリゾート内の文化センターほかさまざまな場所で体験できるプログラム。小グループに分けて先住民の伝統的なペインティング手法を学び、作品を仕上げ、チーム発表するまでがチームビルディングとしてプログラム化されている。



NEW

### 新たにドローン使用の音と光のショーが登場

エアーズロック・リゾートの最新アクティビティとして5月に登場したばかりなのが「ウインジリ ウィル・サンセットディナー」だ。アナング族の言葉で「広い地平線を見渡す美しい景色」を意味するウインジリ ウィルを名に冠したこのショーは、大量の小型ドローンとレーザー光線を組合わせた音と光のショーで、アナング族に伝わる古い物語を夜空に映像化して再現するもの。

プログラムは、先住民が食する材料も使用したディナーから始まり、料理とウルルの夕景を堪能した後にショーを鑑賞する内容で所要時間は3時間となっている。

画像提供：Voyages

ホテル名(和・英)	客室数	メインベニュー面積	バンケットスタイル	カクテルレセプション	URL
<b>クイーンズランド州 ● ゴールドコースト/ブリスベン/ケアンズ</b>					
ザ・ランガム・ゴールドコースト The Langham Gold Coast	339室	618㎡	500名	785名 (シアタースタイル)	<a href="https://www.langhamhotels.com/en/the-langham/gold-coast">https://www.langhamhotels.com/en/the-langham/gold-coast</a>
ザ・スター・グランド The Star Grand	592室	1627.5㎡	1100名	1800名	<a href="https://www.star.com.au/goldcoast/hotels-and-spa/the-star-grand">https://www.star.com.au/goldcoast/hotels-and-spa/the-star-grand</a>
ザ・インチョーム・バイ・オヴォロ The Inchcolm by OVOLO	50室	118㎡	80名	120名	<a href="https://ovohotels.com/ovolo/inchcolm">https://ovohotels.com/ovolo/inchcolm</a>
クリスタルブルック・フリン Crystalbrook Flynn	311室	150㎡	140名	150名	<a href="https://www.crystalbrookcollection.com/flynn">https://www.crystalbrookcollection.com/flynn</a>
シャングリ-ラ ザ・マリーナ, ケアンズ Shangri-La The Marina, Cairns	255室	306㎡	240名	400名	<a href="https://www.shangri-la.com/jp/cairns/shangri-la">https://www.shangri-la.com/jp/cairns/shangri-la</a>
<b>ニュー・サウス・ウェールズ州 ● シドニー</b>					
クラウン・タワーズ・シドニー Crown Towers Sydney	349室	573㎡	340名	390名	<a href="https://www.crownhotels.com.au/sydney/crown-towers">https://www.crownhotels.com.au/sydney/crown-towers</a>
カペラ・シドニー Capella Sydney	192室	※イベントスペースは2026年完成予定			<a href="https://capellahotels.com/en/capella-sydney">https://capellahotels.com/en/capella-sydney</a>
ソフィテル・シドニー・ダーリング・ハーバー Sofitel Sydney Darling Harbour	590室	497㎡	300名	450名	<a href="https://www.sofitelsydneydarlingharbour.com.au">https://www.sofitelsydneydarlingharbour.com.au</a>
インターコンチネンタル・シドニー InterContinental Sydney	509室	-	250名	450名	<a href="https://www.ihg.com/intercontinental/hotels/jp/ja/sydney/sydh/hoteldetail">https://www.ihg.com/intercontinental/hotels/jp/ja/sydney/sydh/hoteldetail</a>
W シドニー W Sydney ※2023年10月オープン	585室	592㎡	390名	650名	<a href="https://www.marriott.com/en-us/hotels/sydw-h-sydney/overview">https://www.marriott.com/en-us/hotels/sydw-h-sydney/overview</a>
<b>ビクトリア州 ● メルボルン</b>					
リッツ・カールトン・メルボルン Ritz Carlton Melbourne	257室	736㎡	550名	1000名	<a href="https://www.ritzcarlton.com/en/hotels/australia/melbourne">https://www.ritzcarlton.com/en/hotels/australia/melbourne</a>
クラウン・タワーズ・メルボルン Crown Towers Melbourne	481室	2050㎡	1500名	2500名	<a href="https://www.crownhotels.com.au/melbourne/crown-towers">https://www.crownhotels.com.au/melbourne/crown-towers</a>
ソフィテル・メルボルン Sofitel Melbourne	363室	796㎡	690名	1000名	<a href="https://www.sofitel-melbourne.com.au">https://www.sofitel-melbourne.com.au</a>
グランド・ハイアット・メルボルン Grand Hyatt Melbourne	550室	1050㎡	730名	1500名	<a href="https://www.hyatt.com/ja-JP/hotel/australia/grand-hyatt-melbourne/melbo">https://www.hyatt.com/ja-JP/hotel/australia/grand-hyatt-melbourne/melbo</a>
プルマン・メルボルン・オン・ザ・パーク Pullman Melbourne on the Park	419室	707㎡	510名	1000名	<a href="https://www.pullmanonthePark.com.au">https://www.pullmanonthePark.com.au</a>
<b>西オーストラリア州 ● パース</b>					
リッツ・カールトン・パース The Ritz-Carlton Perth	205室	550㎡	400名	500名	<a href="https://www.ritzcarlton.com/en/hotels/australia/perth">https://www.ritzcarlton.com/en/hotels/australia/perth</a>
クラウン・タワーズ・パース Crown Towers Perth	500室	2000㎡	1510名	2400名	<a href="https://www.crownhotels.com.au/perth/crown-towers">https://www.crownhotels.com.au/perth/crown-towers</a>
コモ・ザ・トレジャリー Como The Treasury	48室	231㎡	160名	500名	<a href="https://www.comohotels.com/perth/como-the-treasury">https://www.comohotels.com/perth/como-the-treasury</a>
ウェスティン・パース The Westin Perth	368室	800㎡	520名	840名	<a href="https://www.marriott.com/en-us/hotels/perwi-the-westin-perth/overview">https://www.marriott.com/en-us/hotels/perwi-the-westin-perth/overview</a>
パーメリア・ヒルトン・パース Parmelia Hilton Perth	309室	343㎡	240名	400名	<a href="https://www.hilton.com/en/hotels/perhitw-parmelia-hilton-perth">https://www.hilton.com/en/hotels/perhitw-parmelia-hilton-perth</a>
<b>ノーザンテリトリー ● ダーウィン/ウルル</b>					
ミンディル・ビーチ・カジノ・リゾート Mindil Beach Casino Resort	152室	433㎡	250名	440名	<a href="https://www.mindilbeachcasinoresort.com.au">https://www.mindilbeachcasinoresort.com.au</a>
オークス・ダーウィン・エラン・ホテル Oaks Darwin Elan Hotel	301室	684㎡	200名	419名	<a href="https://www.oakshotels.com/en/oaks-elan-darwin">https://www.oakshotels.com/en/oaks-elan-darwin</a>
ヒルトン・ダーウィン Hilton Darwin	233室	271㎡	120名	180名	<a href="https://www.hilton.com/en/hotels/drwhdhi-hilton-darwin">https://www.hilton.com/en/hotels/drwhdhi-hilton-darwin</a>
マントラ・パンダナス・ダーウィン Mantra Pandanas Darwin	203室	174㎡	100名	55名 (クラスルームスタイル)	<a href="https://all.accor.com/hotel/B3N2/index.en.shtml">https://all.accor.com/hotel/B3N2/index.en.shtml</a>
エアーズ・ロック・リゾート Ayers Rock Resort	734室 <sup>*</sup>	386.5㎡	270名	420名	<a href="https://www.ayersrockresort.com.au">https://www.ayersrockresort.com.au</a> <small>*6つの宿泊施設の総数</small>
<b>南オーストラリア州 ● アデレード</b>					
ソフィテル・アデレード Sofitel Adelaide	251室	88.73㎡	50名	70名	<a href="https://www.sofiteladelaide.com.au">https://www.sofiteladelaide.com.au</a>
<b>タスマニア州 ● ホバート</b>					
ザ・タスマン The Tasman Luxury Collection	152室	72㎡	40名	60名	<a href="https://www.marriott.com/en-us/hotels/hbalc-the-tasman-a-luxury-collection-hotel-hobart/overview">https://www.marriott.com/en-us/hotels/hbalc-the-tasman-a-luxury-collection-hotel-hobart/overview</a>

# QANTAS

カンタス航空



## オーストラリア3都市へ直行便



### 羽田からシドニー、ブリスベン、メルボルンへノンストップ

カンタス航空は、2023年3月27日より羽田－メルボルン線の運航を開始。シドニー、ブリスベンに加え、羽田からオーストラリア3都市へ直行便を運航する。待ちに待ったオーストラリア旅行には、乗った時からオーストラリア気分になれるカンタス航空がおすすめです。

#### Schedule

#### カンタス航空は便利な羽田発着

カンタス航空のフライトは、すべて都心からのアクセスが便利な羽田発着。現在、羽田－シドニー線を毎日1便\*、羽田－ブリスベン線を週3便\*、羽田－メルボルン線を週4便\*運航する。

\*スケジュールは予告なく変更になる場合があります。

#### Network

#### オーストラリア国内へ充実のネットワーク

カンタス航空は、オーストラリアの航空会社として、オーストラリア国内線の充実したネットワークを誇る。シドニー、ブリスベン、メルボルンから、オーストラリア各地へスムーズにアクセス可能。さらにオーストラリアには朝に到着するので、乗り継ぎ便も豊富にあるのが大きな強みだ。

また、羽田発着のフライトなので、アライアンスパートナーの日本航空の国内線を使って、日本各地から乗り継げる点も便利だ。

#### カンタス航空日本路線（2023年4月5日から2023年9月29日まで）

##### 羽田－シドニー線

便名	スケジュール	機材	月	火	水	木	金	土	日
QF26 羽田 → シドニー	22:00 / 08:50 +1	A330							
QF25 シドニー → 羽田	20:20 / 05:25 +1	A330							

##### 羽田－ブリスベン線

便名	スケジュール	機材	月	火	水	木	金	土	日
QF62 羽田 → ブリスベン	21:05 / 07:05 +1	A330							
QF61 ブリスベン → 羽田	11:40 / 20:00	A330							

##### 羽田－メルボルン線 New!

便名	スケジュール	機材	月	火	水	木	金	土	日
QF80 羽田 → メルボルン	21:05 / 08:35 +1	A330							
QF79 メルボルン → 羽田	10:30 / 20:00	A330							

※ +1: 翌日着 ※スケジュール、機材は予告なく変更になる場合があります。

## Economy Class

快適な座席でゆったりとくつろげる

## エコノミークラス

人間工学に基づいて設計されたスリムシートには、調節可能なウイングのついたヘッドレストと、座席部には腰サポートが埋め込まれているので、身体をしっかりサポート、機内でゆったりとくつろぐことができる。

またビジネスクラス同様、PC電源とUSBポートを完備。各席のタッチパネル式モニターでは、豊富なエンターテインメント（映画・TVショー・音楽など）を楽しめる。さらに3種類から選べる機内食はボリュームがあり、好評だ。



## Business Class

離陸から着陸までリクライニングが可能

## ビジネスクラス

カンタス航空の羽田ーシドニー線、羽田ーブリスベン線、および羽田ーメルボルン線の使用機材はA330型機。ビジネスクラスの座席は、ビジネススイートとして、全席通路に面した開放感のある空間が特徴。離陸から着陸まで、専用のマットレスを付けたまま、フルフラットベッドでのリクライニングが可能。夜間のフライトの貴重な睡眠時間を確保できるのがうれしい。座席にはPC電源とUSBポートを完備する。

収納可能なタッチパネル式モニターでは、豊富なエンターテインメントを、周辺の音を軽減する機能付きのヘッドフォンで楽しめる。

また、コットン100%のパジャマやアメニティキットを用意。アメニティキットには、竹の歯ブラシや、リサイクルプラスチックを使用したチューブやボトルを採用するなど、廃棄物削減、サステナブルを意識したアイテムが入っている。オーストラリアで人気のレストラン「ロックプール」がプロデュースした機内食もぜひ味わいたい。

出発前は、ビジネスラウンジでゆっくりとくつろぐことができる。



ブリスベン空港 カンタス ビジネスラウンジ

## Service

### カンタス航空の運賃は燃油サーチャージ込み\* 受託手荷物30kgまで無料、安心、快適なサービス

カンタス航空の運賃はすべて燃油サーチャージ込み\*。またすべてのフライトで受託手荷物が運賃に含まれており、日本発オーストラリア行き航空券については、個数制限なしで総重量30kg（ビジネスクラスは40kg）まで無料だ。

カンタス航空にとって、お客様の安全と健康は最優先事項。非接触型チェックインやセルフサービスの手荷物預け入れ、手指消毒ステーション、希望する方にはマスクの配布など、適切な対策を行っている。

\* 諸税、諸手数料が別途かかります。



安心、快適なサービスを提供（イメージ）



[カンタス航空]

- 羽田—シドニー便
- 羽田—メルボルン便
- 羽田—ブリスベン便

[ジェットスター航空]

- 成田—ケアンズ便
- 成田—ゴールドコースト便
- 関西—ケアンズ便
- コードシェア便

[日本航空(コードシェア便)]

- 羽田—シンガポール便
- 成田—シンガポール便

# カンタス航空だからできる 自由に雄大なオーストラリアの旅。

65以上の目的地\*をつなぐ国内線が未知の経験と感動との出会いを広げます。



\*運航路線は予告なく変更になる場合があります。